



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 3月号
平成31年3月1日
校長 西田 素子

今年も暖冬とはいえ、やはり春の到来が待ち遠しい今日この頃です。早いもので平成30年度も最後の月となりました。これまで本校の教育活動に、たくさんの皆様から温かいご理解とご協力をいただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

あいさつや交通安全指導を通して登下校の安全を見守りくださったPTAや地域の皆様、読み聞かせや図書館整備をしてくださったボランティアの方々、昔遊びやボランティア学習・防災学習・餅つき交流・町探検などの校外学習等、学習支援をしてくださった地域の皆様……。おかげさまで充実した教育活動を行うことができました。今後も地域に根差し、地域と連携した教育活動を展開し、地域に誇りと愛着をもつ児童の育成に努めるとともに、良き伝統を守り繋げてまいります。引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。



【3月の目標】

学習：学習ルールの中から個人で重点目標を決め、カードに毎日記号でふり返りを記入します。

→「最後まで静かに聴く・正しい姿勢で学習する・ベル着する」など9項目の中から選びます。

生活：「進んであいさつしよう」「1年間をふりかえろう」

→「服装を整える・正しい言葉づかい・友達と協力・時間を守る・安全に気をつける」の5項目の中から、クラスや学年で自分たちの課題であることを選び取り組みます。

***どちらも、1年のまとめに「自分(たち)で決め、取り組み、やり遂げること」が大切です！**

伸びを確かめ、伸びる期待を高め、春を迎えましょう！ ～節目の時～

先日「6年生を送る会」が行われました。これまで学校行事や児童会活動、毎日の集団登校など様々な場面で力を発揮し、下級生に素敵な手本を示してくれた6年生に、お世話になった感謝の気持ちを伝えました。どの学年も工夫を凝らした発表で、大勢の前でものびのびと表現する姿に、この一年の大きな成長を感じました。また、企画運営を担った5年生の活躍ぶりから、次期リーダーとしての自覚の高まりを感じ嬉しく思いました。ご参観いただきました保護者の皆様、ご家庭で応援の言葉をかけてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

さて修了・卒業の月を迎え、この3月は次の学年・学校へ向かう「節目」の時となります。「節目」という言葉で思い浮かぶのは、雪の重みや強い風雨にもしなやかに耐え、空に向かってまっすぐに成長する「竹」です。竹は、種から発芽するまで4年以上の月日を要し、その間地下に深く広く根を張り、地上の竹の幹を支える準備をするのだそうです。また竹は、他の木々にはない節目を多く持つことで、外からの力を受け止めはね返し、細い幹でも折れることなく成長することができるといわれています。子どもたちが目標に向かって頑張ろうとねばり強く取り組む姿そのものです。この節目の時に、この1年に付けた力や伸びた力を確かめ、次の学年への期待を高めて春休みを迎えたいものです。残り14日(6年生は9日)となった授業日ですが、一日一日を大切に、充実した学校生活となるよう職員一同努めてまいります。

若竹の伸びゆくごとく 子ども等よ 真直ぐにのばせ 身をたましひを



上の歌は、明治から大正にかけて多くの作品を残した若山牧水のもので、子どもたちに、まっすぐな心をもって、たくましく育ってほしいと願うのは、いつの世も同じです。英田っ子も若竹のように、深く広く根っこを張り、いろいろな経験を栄養にして元気に育ち、多少の困難にも負けず、しなやかに力強く伸びていってほしいと思います。保護者の皆様の温かい励ましも、力の源となります。この「節目」がさらなる成長の機会となりますよう、ご支援のほどよろしくお願い致します。